

1. 科目名 (単位数)	異文化コミュニケーション教育演習 (2単位)	3. 科目番号	EIJP3171						
2. 授業担当教員	高 峽								
4. 授業形態	講義、グループワーク、ディスカッション	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	「異文化コミュニケーション教育」を履修していることが望ましい。								
7. 講義概要	<p>異文化コミュニケーションの教育の一つに、異文化トレーニングがある。異文化トレーニングは主に知識学習と体験学習に大別されるが、講義では知識学習としてトレーニングの種類や内容、効果など認知的側面を扱い、個人による作業も取り入れていく。</p> <p>実践では体験学習としてクラスで実施可能なペアワークやグループワークなどを取り入れながら、異文化コミュニケーションの情動や行動の側面についても訓練していく。また、トレーニングの実践後にはディブリーフィングやディスカッションなども実施し、ルールの違いや行動の意味などについて考えていく。</p> <p>クラスのサイズによってトレーニング内容を調整しながら実施していく。</p>								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 未知の環境での生活やストレンジャーとのコミュニケーションに先立ち、擬似的に体験したり能動的に行動したりする訓練を通して、経験的知識を習得する。</li> <li>2. 擬似異文化の社会的相互作用や人間関係の調整における情動を体感し、自己理解や成長を図り、説明できるようになる。</li> <li>3. トレーニングを通して、問題の早期認識や判断、対応する力に結び付けできるようになる。</li> </ol>								
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<p>事前学習・事後学習:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各回の事前学習として、教科書該当部分を読み、授業に備えること。</li> <li>2. 各回の事後学習として、教科書にある問題を記入し、次回の授業で提出すること。</li> </ol> <p>レポート課題または期末試験:</p> <p>学期の進行状況や理解度に応じて、必要に応じてレポート課題または期末試験を実施する。</p>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>有田佳代子ほか (2018) 『多文化社会で多様性を考えるワークブック』、研究社。</p> <p>【参考書】</p> <p>講義内で適宜紹介する。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準(学習目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 未知の環境での生活やストレンジャーとのコミュニケーションに先立ち、擬似的に体験したり能動的に行動したりする訓練を通して、経験的知識を習得できたか。</li> <li>2. 擬似異文化の社会的相互作用や人間関係の調整における情動を体感し、自己理解や成長を図り、説明できたか。</li> <li>3. トレーニングを通して、問題の早期認識や判断、対応する力に結び付けできたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合的に評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. トレーニングの実践やグループワークへの参加程度</td> <td>総合点の 40%</td> </tr> <tr> <td>2. トレーニング後のディブリーフィングやディスカッションでの発言の程度</td> <td>総合点の 40%</td> </tr> <tr> <td>3. 試験・レポート</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> </table> <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は原則として認められない。</p>			1. トレーニングの実践やグループワークへの参加程度	総合点の 40%	2. トレーニング後のディブリーフィングやディスカッションでの発言の程度	総合点の 40%	3. 試験・レポート	総合点の 20%
1. トレーニングの実践やグループワークへの参加程度	総合点の 40%								
2. トレーニング後のディブリーフィングやディスカッションでの発言の程度	総合点の 40%								
3. 試験・レポート	総合点の 20%								
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教科書は必ず事前予習し、授業に持参すること。</li> <li>2. グループワークやディスカッションには遅刻せず、積極的に参加すること。</li> <li>3. 文化背景の異なる人々との交流に興味を持ち、授業内容を日常生活と関連付けて理解すること。</li> </ol>								
13. オフィスアワー	初回の講義内で通知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	イントロダクション: 授業の概要、授業の進め方	事前学習	シラバスを確認し、扱うテーマや内容について把握しておく。						
		事後学習	講義内容を振り返り、授業の進め方について整理しておく。						
第2回	郷に入っては郷に従え?① (異文化間ソーシャルスキル・理論・事例紹介)	事前学習	教科書の該当部分を読む。						
		事後学習	教科書の問題を記入						
第3回	郷に入っては郷に従え?② (体験・ニュース事例分析・ディスカッション)	事前学習	教科書の該当部分を読む。						
		事後学習	教科書の問題を記入						
第4回	心が広がってどういうこと?① (寛容性・理論・事例)	事前学習	教科書の該当部分を読む。						
		事後学習	教科書の問題を記入						
第5回	心が広がってどういうこと?② (体験・ディスカッション)	事前学習	教科書の該当部分を読む。						
		事後学習	教科書の問題を記入						
第6回	言いにくいことをどう伝える? (アサーション・トレーニング)	事前学習	教科書の該当部分を読む。						
		事後学習	教科書の問題を記入						
第7回	えっ? あなたはこう思わないの? (ビジネスでの異文化接触)	事前学習	教科書の該当部分を読む。						
		事後学習	教科書の問題を記入						
第8回	「〇〇人」ってだれのこと? (「日本人」・「外国人」)	事前学習	教科書の該当部分を読む。						
		事後学習	教科書の問題を記入						

第9回	悪気はなかったんだけど...(マイクロ・アグレッション)	事前学習	教科書の該当部分を読む。
		事後学習	教科書の問題を記入
第10回	今のあなたはどのような立場?①(マイノリティとマジョリティ・理論)	事前学習	教科書の該当部分を読む。
		事後学習	教科書の問題を記入
第11回	今のあなたはどのような立場?②(体験・ディスカッション)	事前学習	教科書の該当部分を読む。
		事後学習	教科書の問題を記入
第12回	自分の家の近くはだめ?①(沖縄・理論・事例)	事前学習	教科書の該当部分を読む。
		事後学習	教科書の問題を記入
第13回	自分の家の近くはだめ?②(体験・ニュース分析・ディスカッション)	事前学習	教科書の該当部分を読む。
		事後学習	教科書の問題を記入
第14回	ひとくくりはあぶない!(ステレオタイプ)	事前学習	教科書の該当部分を読む。
		事後学習	教科書の問題を記入
第15回	「ことばができる」ってどんなこと?(国境を越える子どもの言語習得)・まとめ	事前学習	教科書の該当部分を読む。
		事後学習	教科書の問題を記入